

新幹線小松駅など 小松工生徒が見学

高校生の建設現場見学会始まる

石川県建設業協会

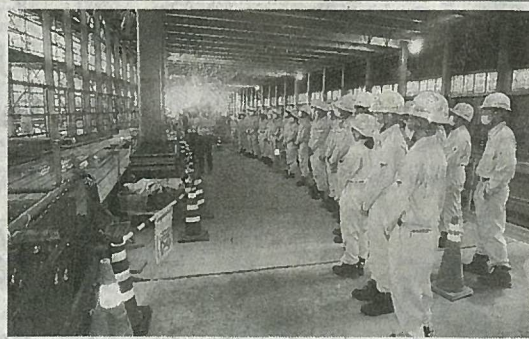
石川県建設業協会の主催による、今年度の高校生を対象とした建設現場見学会が6日から始まった。この日は、小松工業高校建設科1年生40名が「北陸新幹線小松駅新築工事」と「加賀海浜産業道路」の2現場、同校建設科2年生40名が「R2加賀地区改良外工事」と「新石川県立図書館建設工事」の2現場を、それぞれ見学した。

このうち北陸新幹線小松駅新築工事(施工者「奥村組・トーケン・中東特定建設工事共同企業体」

では、最初に鉄道建設・運輸施設整備支援機構北陸新幹線建設局の麻生望小松鉄道建築建設所長らが、「ふるさと」の伝統を未来へつなぐ『ターミナル』をデザインコンセプトとした小松駅の、白山の雄大な山並みと未来を感じるデザインイメージや、安全で移動しやすい空間・設備、わかりやすい誘導案内設備等のユニバーサルデザインの採用などについて説明。続いて、奥村組の現場担当者が見学の方におけるクレーンでの鉄骨の運搬、および鉄骨の組立て作業で工夫した点や、BIMの活用など現場で進めている工事の内容を説明した。

この後、生徒達は担当者のお話を聞きながら工事中の駅舎の内部や待合室、新幹線のホームなどを見学して回り、終了後には活発に質問する姿も見られた。

今後の見学会の日程等と現場は以下の通り。



小松駅新築工事の現場内を見学する高校生=6日

- 土木コース
- 「能越道 輪島道路」
- 「金沢外環状道路 海側幹線、浅野川橋梁P51P7上部工」
- ▽8日
- 羽咋工業高校 建設・デザイン科2年生 建築コース
- 「能越道 輪島道路」
- 高

松病院改築工事」▽13日
羽咋工業高校建設・デザイン科1年生 「北陸新幹線小松駅新築工事」